

平成 30 年度用教科書のご案内

平成 30 年度よりご使用いただける教科書を編修部がご紹介します。ご検討の参考にしていただければ幸いです。

数学Ⅱ 新訂版 数学B 新訂版



本書は、大学受験を強く意識する生徒向けの教科書で、豊富な例題とわかりやすい表現で構成し、かつ見やすい紙面となるように改訂しました。

■特徴 1 スリムな教科書

進学校を中心に「数学Ⅱ・Bの内容を早く終え、数学Ⅲなどの指導に進みたい」「教科書はさらりと終えて、演習の時間を確保したい」という要望があることから、必要な学習要素は減らさずに、冗長であった部分の記述の見直しを行い、総ページ数を削減しました。

数Ⅱ：改訂前 256 ページ→新訂版 240 ページ

数B：改訂前 184 ページ→新訂版 168 ページ

■特徴 2 学びやすさ・教えやすさに配慮

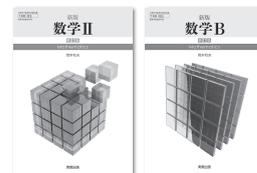
教科書の「例」では、適宜端的なタイトルを太字で記し、学ぶ内容が一目でわかるようにしました。また、節末問題や章末問題では、校外模試やセンター試験を意識したマーク形式の問題を載せました（数Ⅱ p.18 4、数B p.41 5 など）。

加えて、適宜コラムを載せました。学習効果の高い内容（数Ⅱ p.50「相加平均・相乗平均と最大値・最小値」）や、数学が生活に活用されている興味深い内容（数Ⅱ p.142「正弦曲線」、緊急地震速報との関連）などで構成しました。

■特徴 3 生徒の知的好奇心を刺激する題材

章扉では、その章の学習内容に深く関連する数学者と、その数学者にゆかりのある大学の写真を載せ、数学の学習への動機づけを喚起するようにしました。また、巻末の題材も充実させ、数学Ⅱでは「高次方程式の解法の歴史」を4ページ扱いました（数Ⅱ p.240～後見返し）。数学Bでは「ハノイの塔」や「フィボナッチ数列」を扱いました（数B 後見返し）。

新版数学Ⅱ 新訂版 新版数学B 新訂版



本書は、基本的な内容から発展的な内容まで段階を踏んで学べる教科書で、多様な生徒の実態に幅広く対応できるように改訂しました。

■特徴 1 丁寧な説明

段階的に学習を進められるように、学習内容はスモールステップで記述し、生徒が躓かないように配慮しました。例えば、数学Ⅱの複素数の四則計算（数Ⅱ p.24, 25）は、見開き2ページで構成し、例3から例6まで丁寧に説明しました。また、0や負の整数の指数（数Ⅱ p.144, 145）においても、見開き2ページで構成し、数学Ⅰで学んだ内容を確認して数学Ⅱの学習を進めていけるようにしました。

■特徴 2 生徒の自学自習に配慮

各ページの右側には、適宜ポイントをまとめた図解を載せ、視覚的にわかりやすいようにしました。また、各内容の導入は可能な限り具体例で記述し、その後の一般論や公式にスムーズにつながるようにしました。加えて、公式の導出や例題の解答における途中式なども、可能な限り省略せずに記述しました。

■特徴 3 多様な生徒に配慮

例題を「例題」と「応用例題」の2種類に分け、学校・生徒の実態に合わせて選択的な授業が可能となるようにしました。また、各所に「参考」「研究」「発展」を適宜載せ、より学習を進めたい生徒が自主的に取り組めるようにしました（数Ⅱ p.41「研究 組立除法」、p.212「研究 絶対値を含む関数の定積分」、p.137「発展 和と積の公式」）。もちろん、必要があればこれらの「参考」「研究」「発展」も、授業で扱うことができるように記述してあります。

新数学Ⅱ



「これまでの中間版教科書では分量が多く、終わらない」という学校や「大判教科書を使ってきたが、少し難しい内容も指導したい」という学校に最適な教科書です。

■特徴 1 小判教科書で最も精選された内容

本書は、小判 (A5 判) 教科書で最も精選された教科書を目指して編修しました (数Ⅱ 192 ページ)。ページ数を抑えた分、1 つの学習項目にじっくりと時間をかけて指導することができます。

また、数学に苦手意識を持っている生徒にも教科書を読んでもらいたい、という願いから、紙面デザインは目にやさしい緑色系で統一し、柔らかい印象を持たせました。

■特徴 2 生徒目線の教科書

各項目のはじめの「双葉マーク」では、項目の内容に関連した具体例 (数Ⅱ p.50, 94) や、既習事項の振り返り (数Ⅱ p.10, 70) を扱っており、スムーズに数学Ⅱの内容が学べるようにしてあります。

また、各章の章扉は見開き 2 ページの紙面とし、生徒の興味・関心を惹くように、大きな写真と、内容の導入にふさわしい話題で構成しました。

加えて、内容の理解を助ける補助図 (黒板) や、青字の補足説明、例題の「考え方」などを豊富に用い、自学自習できるよう工夫しています。

■特徴 3 丁寧な記述と豊富な練習

本書は、上述のとおりページ数を抑えた教科書である一方、説明や式変形が丁寧になるよう、それらに十分なスペースをあてています。

また、練習問題もできるだけ多く載せ、反復練習が図れるようにしました。例えば、数学Ⅱの対数 (数Ⅱ p.136, 137) では、見開き 2 ページで例と練習をステップごとに掲載し、反復・確認しながら学習を進められるようにしました。

高校数学Ⅱ 新訂版 高校数学B 新訂版



本書は内容を精選した大判 (B5 版) の教科書で、数学に対して特に苦手意識を持っている生徒も少しでも数学を楽しめるように改訂しました。

■特徴 1 復習しながら学べる教科書

数学Ⅱの巻頭で、中学校～数学Ⅰの内容を学び直すことのできる「ウォームアップ」のページを設けました (数Ⅱ p.6～9)。数学Ⅱの分数式や 2 次方程式を学ぶうえで必要な式の計算を復習できます。また、数学Ⅱには二項定理があり、数学 A を履修していない生徒のために「組合せの総数」もウォームアップで扱いました (数Ⅱ p.8, 9)。

加えて、教科書のページ端に鉛筆マークをつけました (数Ⅱ p.12, 106, 数 B p.82 など)。このマークがある箇所は、それ以前に学んだ内容であることを表しています。このように、本文でも既習事項を扱うページを適宜入れ、数学Ⅱや数学 B の新しい内容をスムーズに学べるようにしました。

■特徴 2 理解しやすい「例」

「例」は薄い色の枠で囲み、参照しやすいようにしました。枠の右上に例の端的なタイトルを載せ「ここは何を学ぶ例なのか」が生徒にとってわかりやすいようにしました。また、例の具体的な目標を「～してみよう。」のように問いかけの文で載せ、例で学ぶ内容がいつそう理解しやすいようにしました。

■特徴 3 使いやすい巻末の「付録」

巻末解答では、「節末問題」に加え、「補充練習」や「自主トレーニング」の解答も掲載しました。また、巻末の折込では新たに「公式集」を掲載し、定期試験前の学習や総まとめに活用できるようにしました。加えて、数学Ⅱでは本文における問のグラフを直接書き込みできる「解答用グラフ用紙」を、数学 B では切り取って組み立てられる「折りたたみ式空間座標」を扱いました。